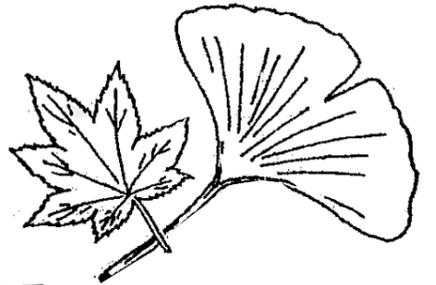


いちかわ 芸術の散歩道

歩いて楽しい！ 中山・若宮界隈 発見マップ



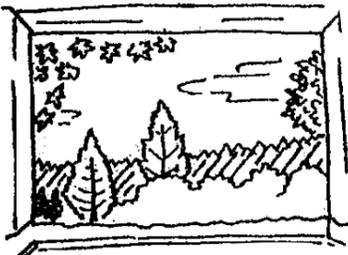
～中山・若宮周辺は、
芸術家の住むまちでもある～

協力：中山参道周辺活性化部会
若宮銀座周辺活性化部会
発行：市川市 文化振興課

平成24年12月改訂

ひがしやま
日本画家 東山

かいい
魁夷氏



国際的に知られる日本画家。新宮殿壁画、唐招提寺壁画をはじめとする多数の名作を生み出している。市川市文化会館大ホールの緞帳の一つは、画伯の作品を刺繍したものである。
文化勲章受章者。市川市名誉市民。生前は中山に在住した。平成17年11月東山魁夷記念館が開館。

おおすか
彫刻家 大須賀 力氏

昭和の初期から彫刻家として作家活動に入り、彫刻界の発展に尽力する。日展特選を受賞以来、一貫して人体に取り組んできた。市川市役所前や市民会館前に野外彫刻があり、メディアパーク市川の前には「ママ…ご本をよんで」という作品が設置されている。
市川市名誉市民。中山に在住していた。



ふじた
ガラス工芸家 藤田 喬平氏

1975年（昭和50年）コペンハーゲンにおける世界のスタジオグラス店の招待作品に出品する。国際的にも評価が高く、「現代の琳派」と評される華麗な作品は、「フジタガラスの世界」といわれる。
文化功労賞受賞。北方に在住していた。



かじやま
絵本作家 梶山 俊夫氏

洋画家として活躍ののち、1年間パリに滞在する。帰国後、下総国分寺を見学してから、日本に根ざした絵を描くようになり絵本の世界に入る。チェコスロバキア世界絵本原画展で「みんなであそぶわらべうた」が「金のりんご賞」を受賞する。中山に在住。アトリエは若宮にある。



【若宮周辺の主な行事】

- 2月3日 節分会（奥之院）
- 4月上旬 釈尊降誕花祭り（奥之院）
- 8月下旬 秋祭り 4年に1度
（大六天社、若宮八幡神社）
- 11月中旬 祭礼（奥之院）

〔五木寛之さんの著書〕

若宮・中山の隣、北方町に一時住んでいた。その当時周辺で過ごした体験が作品の中に登場する。

「中山競馬の開催日は、下駄ばきで歩いて出かけた。」『風に吹かれて』より
『ゴキブリの唄』『極楽とんぼ』
『ある日 日本の片隅で』

〔梶山俊夫さんの本〕

中山に住み、若宮にアトリエを持つ。

梶山さんの著書

『ききみみをたてて出かけよう』の「婆ちゃん」"山門通り"の章に、若宮や中山が登場する。
この本の内容を思い浮かべながら街を歩くと散歩がいつそう楽しくなるのでは？



【若宮の地名の言い伝え】
日本武尊が東征の途中に立ち寄り、しばらく宿所として「おお吾が宮よ」と唱えたことから、若宮の地名が起ったと伝えられる。



日蓮百日説法の地
奥之院には修行のための滝がある
日常上人の御廟所
紅梅

妙正寺道標
奥之院と北方にある妙正寺を結ぶ道。姥神の伝説が残る。